

情報入試フォーラム 2013 資料集

情報入試研究会

<http://jnsg.jp/>

2013年3月3日

これからが正念場

もうすぐに2013年度が始まる。そして、新しい学習指導要領の下で高校普通教科「情報」の教育学習が開始される。その普通教科「情報」での学習成果をどのような方法で計ればいいのかを今のうちから考え、試して、準備しておく必要がある。

高校教科「情報」が導入されて10年が経とうとしている。新しい世紀は情報の時代だといわれ、人間生活のあらゆる面で情報科学技術をいかに活用していくかが問われている。「情報」は、その基礎となる教科として位置づけられている。それにしても、社会での「情報」への関心が低すぎるし、扱いが粗末に過ぎる。その現れの一つが、入試に「情報」を取り入れている大学の少なさがある。入試に取り入れる大学が少ないから、高校での「情報」の扱いがぞんざいなものになっているとは言いたくはないが、現実にはそうなっているというほかはない現状がある。

高校教科「情報」が始まったとき、すべては初めてのことであった。「情報」の教育をどういう題材を使ってどのように行えばいいのか、その目標とする知識・能力を身につけたことをどういう方法で計ればいいのか。ために高校教科「情報」がパソコン教室と変わらないものだという風評さえあった。

10年経って、教科書の内容もしっかりしたものになった。教育の仕方、学習の場の設定の仕方について経験も蓄積され、共有されてきている。この時点で必要となるのは、生徒が身につけた知識・能力を計る方法についての、蓄積された経験の共有と、その洗練・確立に向けての活動である。

我々は、大学入試において教科「情報」に関する学習結果をいかに計るか、という目的設定の下でこの課題に取り組んでいる。昨年3月に研究会を発足して、まずはこれまでに入試に出題されてきた問題を集めて調べることから始めて、あるべき入試試験問題の検討をすすめてきた。今年5月にはその結果を模擬試験という形で公表する予定である。今回は、その検討過程で議論してきたことの一端を紹介する。

教科「情報」と大学入試ということでは、明治大学が教科「情報」の試験を中核とする入試を開始したというニュースがある。その入試を実施して得られた知見の一端も紹介される。

3年後には高校普通教科「情報」を学んだ生徒が大学進学を迎える。それまでに「情報」の学習成果が正当に評価される状況を作り出していくには、これからが正念場である。皆様のご支援を得て、最善を尽くしたい。

笥 捷彦（情報入試研究会）

目次

- (1) 模試実施概要説明
植原 啓介（慶應義塾大学）
- (2) 試作問題 #001 解説
久野 靖（筑波大学）
- (3) 愛知教育大学 普通教科「情報」入試 10 年間の総括
竹田 尚彦（愛知教育大学）
- (4) 明治大学情報コミュニケーション学部 2013 年度情報入試について
山崎 浩二（明治大学）
- (5) 慶應義塾大学 総合政策学部/環境情報学部 2016 年度入試について
村井 純（慶應義塾大学）
- (6) 文教大学情報学部の入試制度
佐久間 拓也（文教大学）
- (7) パネルディスカッション：情報入試のこれから

(資料)

- 情報入試研究会 試作問題 #001
- 愛知教育大学 2010 年度 入試問題
- 明治大学情報コミュニケーション学部 模擬問題
- 情報入試フォーラム 2013 に協力していただいた関係機関
- 情報入試研究会の活動軌跡
- 入試問題試作 WG 報告

パネルディスカッション：情報入試のこれから

パネルディスカッションでは、以下の項目を話題として考えています。

- 情報入試の問題の内容
 - － 情報活用の実践力を問う問題の作り方
 - － 情報の科学的な理解を問う問題の作り方
 - － 情報社会に参画する態度を問う問題の作り方
 - － その他、情報活用力に関する問題の作り方
- 情報入試の内容全体
 - － 学習指導要領との対応、特に情報科との対応
 - － 共通教科「情報」(普通教科「情報」と、専門教科「情報」)
 - － 他教科・他科目との内容の重複について
(数学、統計、倫理、政治経済、国語、物理、保健)
- 入試全体における情報の位置
 - － 入試科目としての組合せ(「英語・数学・情報」など)
 - － 情報への配点の度合
 - － 理系入試か、文系入試か。
大学のアドミッションポリシーとの関係
 - － 卒業生の将来の進路
- 情報入試に関する広報活動と事業活動
 - － 過去問(といっても、ほとんど存在しない)
 - － 受験用参考書(現状、全く存在しない)
 - － 予備校などの模擬試験(現状、全く存在しない)
 - － 生徒への周知と、受験したい生徒への働きかけ(サポート)
 - － 出題態勢の組織化や、大学経営陣との交渉、作題担当者の継続的な確保
- 過去の情報入試のレビューとこれから

このように、話題にしたいテーマは多いため、その中でも、講演などであまり触れられてないテーマや、会場からの要望などを勘案して、議論を進めたいと思います。

中山 泰一(情報入試研究会)

情報入試フォーラム 2013 に協力していただいた関係機関

共催

筑波大学

協賛

情報処理学会 情報処理教育委員会

情報処理学会 コンピュータと教育研究会

WIDE Project

情報入試研究会の活動軌跡

- 2012年 3月 3日(土) 情報入試フォーラム 2012 を開催
(早稲田大学 西早稲田キャンパス)
- 2012年 9月 29日(土) 第1回 入試問題試作 WG を開催
~ 30日(日) (慶應義塾大学 日吉キャンパス)
- 2012年 10月 27日(土) 高校教科「情報」シンポジウム 2012 秋に協賛
(早稲田大学 西早稲田キャンパス)
- 2012年 12月 16日(土) 第2回 入試問題試作 WG
~ 17日(日) (慶應義塾大学 日吉キャンパス)
- 2013年 1月 26日(土) 第3回 入試問題試作 WG
~ 27日(日) (慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス)
- 2013年 3月 3日(日) 情報入試フォーラム 2013 を開催
(筑波大学 東京キャンパス文京校舎)

情報入試フォーラム 2013 資料集

2013年3月3日 発行

編 集 中山 泰一

発行者 情報入試研究会

<http://jnsg.jp/>